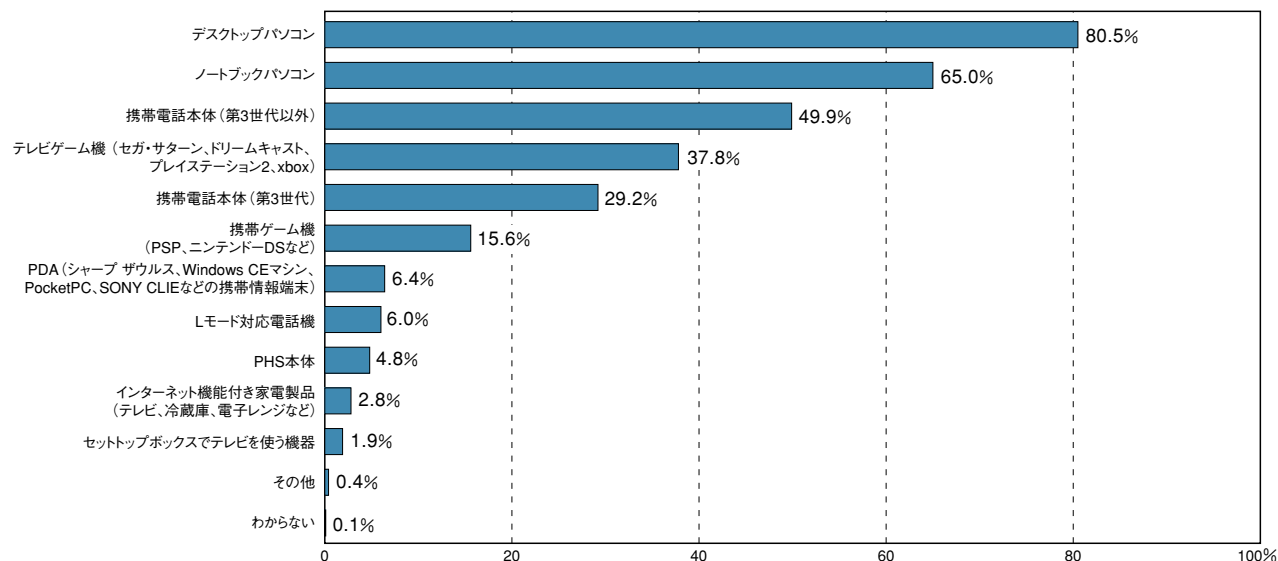


インターネット利用機器

インターネット利用機器は多様化の傾向へ

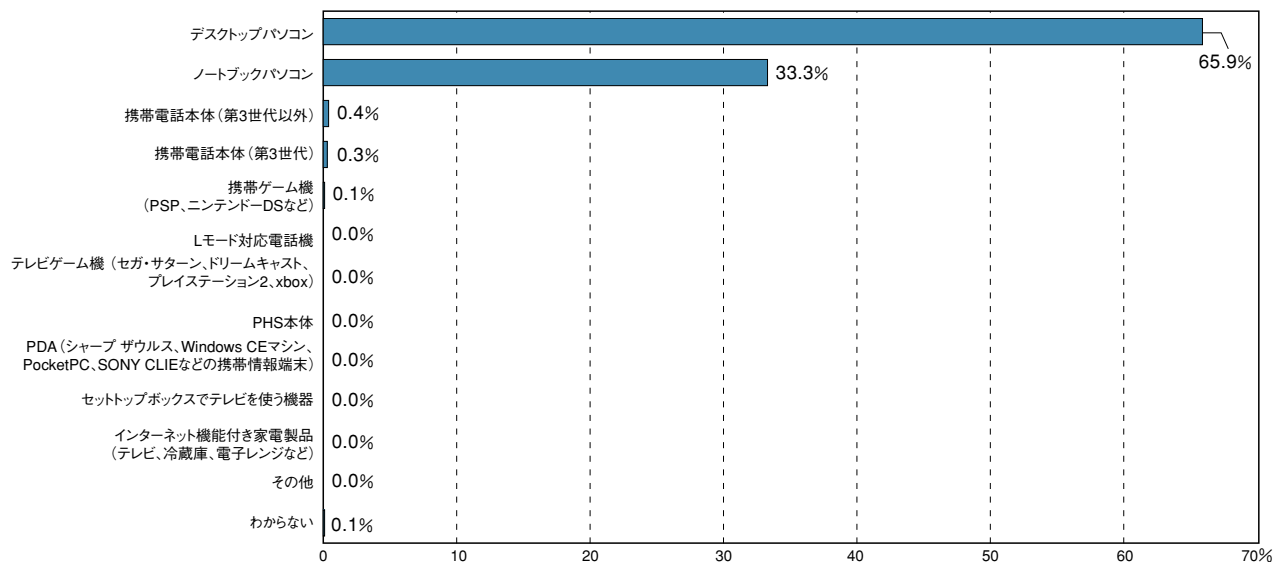
資料2-2-1 所有しているインターネット機器（複数回答） N=1,600



家庭で所有しているインターネット利用機器のトップは「デスクトップパソコン」の約8割。次いで「ノートブックパソコン」の65.0%で、これは昨年より11ポイント増加している。一方、携帯電話本体（第3世代以外）が49.9%、携帯電話本体（第3世代）が29.2%など、携帯電話本体でのインターネット利用も増加傾向にある。また、テレビゲーム機や携帯ゲーム機でのインターネット利用も増え、利用機器の多様化がうかがえる。

最も利用しているインターネット機器はデスクトップパソコン

資料2-2-2 最も利用しているインターネット機器（単一回答） N=1,600

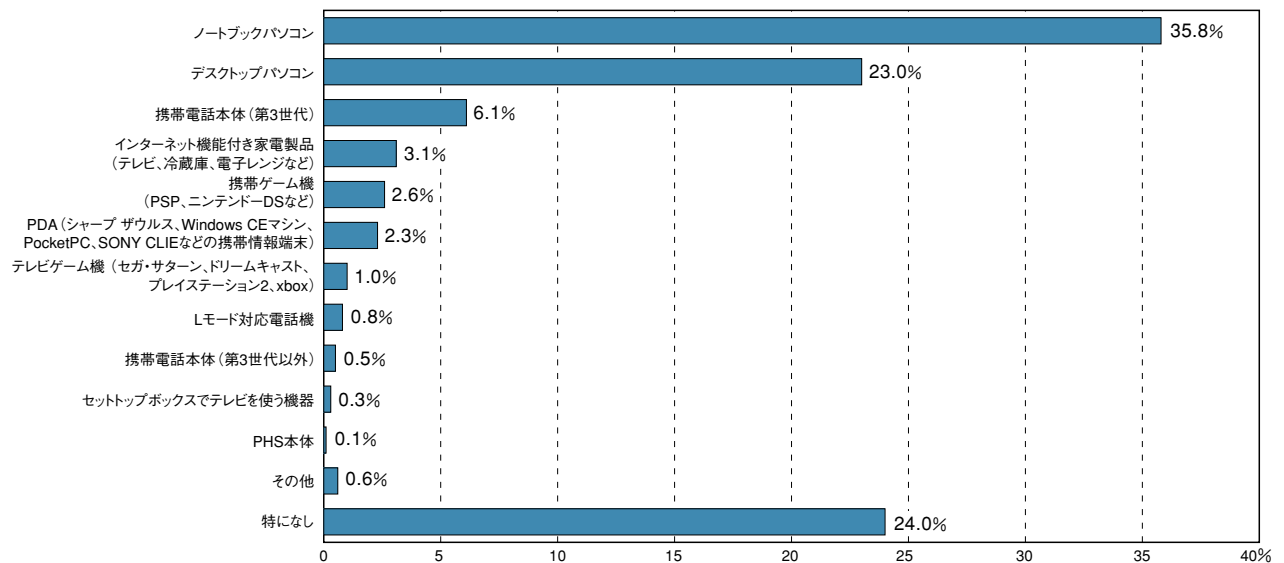


最も利用しているインターネット利用機器は「デスクトップパソコン」で65.9%、2位は「ノートブックパソコン」の33.3%で、昨年からはほとんど変化はみられない。携帯電話本体やゲーム機などでの利用もあるが、ほとんどのユーザーはパソコンでのインターネット利用の機会が最も多い。

インターネット利用機器

一番購入したいインターネット機器はノートパソコン

資料2-2-3 今後購入したいインターネット機器（複数回答） N=1,600

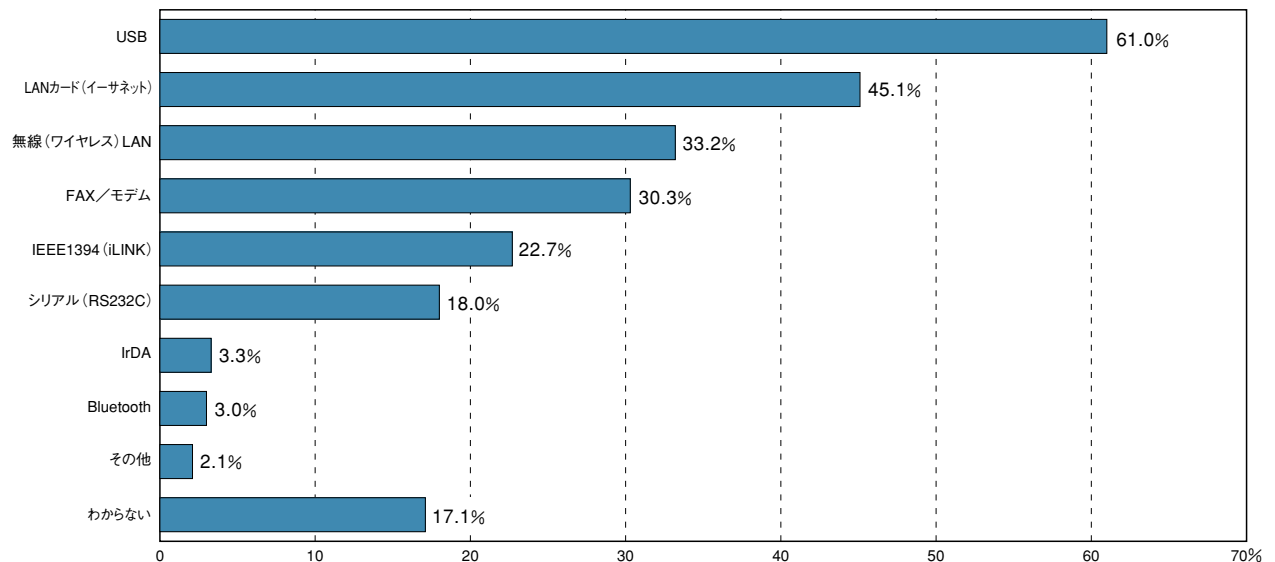


今後購入したいインターネット機器は、「ノートブックパソコン」が35.8%でトップ、次いで「デスクトップパソコン」が23.0%となっており、「ノートブックパソコン」の潜在需要が高いことがうかがえ、また、パソコンでのモバイルインターネットへのニーズがあるともみられる。一方、「携帯電話本体（第3世代以外）」の0.5%に対し「携帯電話本体（第3世代）」が6.1%と、第3世代携帯電話の潜在需要もみられる。

©impress,2005

家庭のパソコンは無線LAN機能付きが33.2%

資料2-2-4 家庭のパソコンの通信機能（複数回答） N=1,598



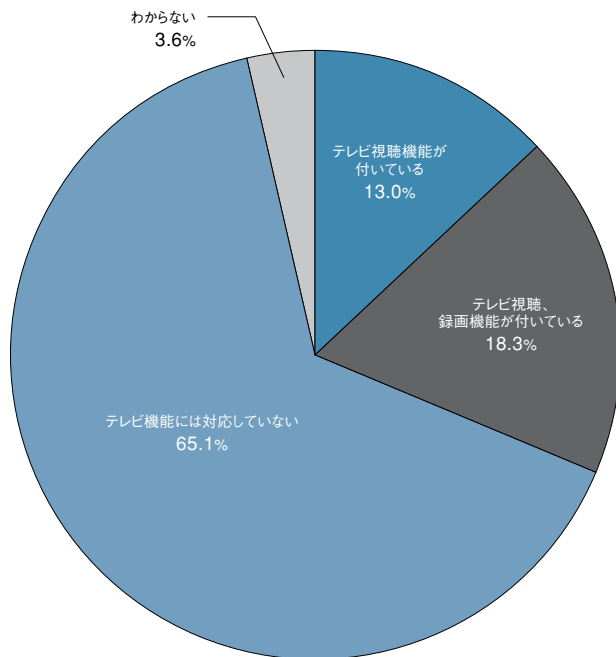
パソコンでインターネットを利用しているユーザーに、パソコンに付属している通信機能を聞いたところ、「USB」が61.0%で最多加、ほぼ全機種に搭載されていることを考えると、少なめの結果ともいえる。「わからない」という回答が17.1%あることから、USBという名称を認識せずに使っている人も少なからずいることが考えられる。また「無線（ワイヤレス）LAN」が、昨年より約8ポイント増の33.2%で3位にあげられている。

©impress,2005

インターネット利用機器

TV機能付きパソコンの所有率は3割

資料2-2-5 家庭のインターネット利用パソコンのTV機能の有無 N=1,598

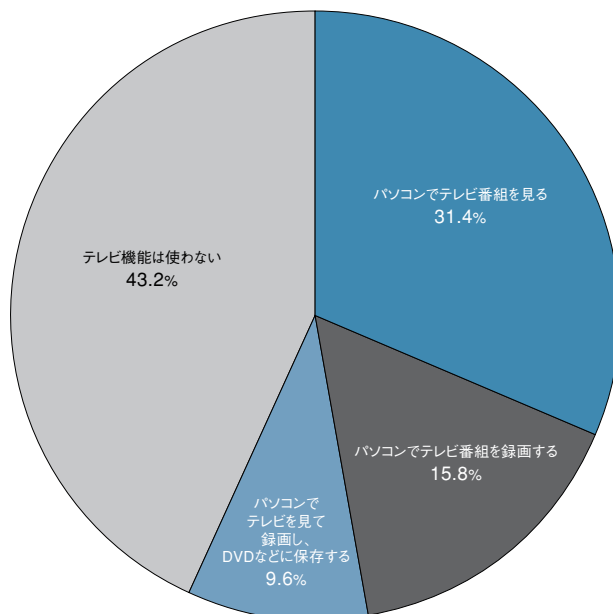


©impress,2005

パソコンでインターネットを利用しているユーザーに、パソコンのTV機能の有無を聞いたところ、「テレビ視聴、録画機能が付いている」が18.3%、「テレビ視聴機能が付いている」が13.0%で、約3割がTV機能ありであった。パソコンのテレビ機能が普及しつつあることがうかがえ、映像サービスやコンテンツの充実にとともに、さらにこの傾向が進むものと思われる。

TV機能付きパソコンのTV利用状況は約6割にとどまる

資料2-2-6 家庭のインターネット利用パソコンのTV機能利用状況 N=500



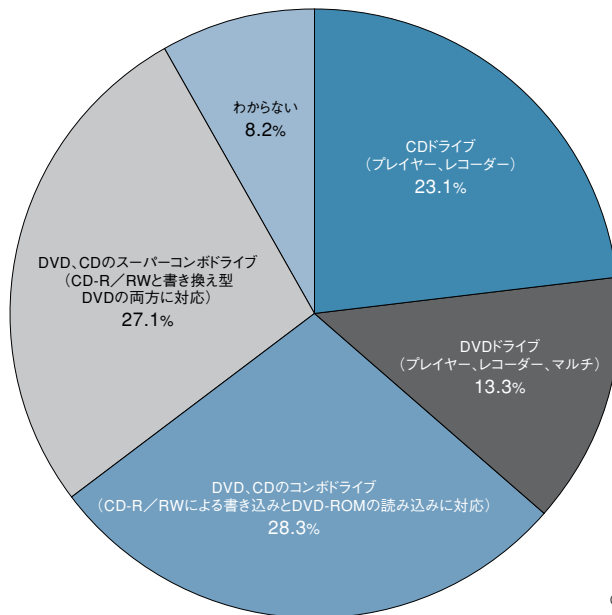
©impress,2005

TV機能付きパソコン所有者にTV機能の利用状況を聞いたところ、半数以上がTV機能を利用しているものの、「テレビ機能は使わない」と回答した人が43.2%。4割以上のユーザーが機能はあっても利用していないという状況であった。利用しているユーザーは「パソコンでテレビ番組を見る」が31.4%で最も多い。また、「パソコンでテレビを見て録画し、DVDなどに保存する」は約1割だが、今後DVDレコーダーの普及とともにこのような利用方法が増えるものと思われる。

インターネット利用機器

最も利用している内蔵・接続ドライブはDVD対応ドライブで約7割

資料2-2-7 最も利用している内蔵または接続されているドライブの状況 N=1,598



©impress,2005

最も利用している内蔵または接続ドライブを聞いたところ、「DVD、CDのコンポドライブ」が28.3%で最も多くなっている。「DVD、CDのコンポドライブ」が27.1%、「DVDドライブ」が13.3%で、DVD-ROM対応ドライブの合計が68.7%という結果であった。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp